

17 (1985) 2, 93-97

森川 晶夫*² 藤川 徳次郎*³ 吉村 博安*⁴

Energy Strategy at Kawasaki Steel

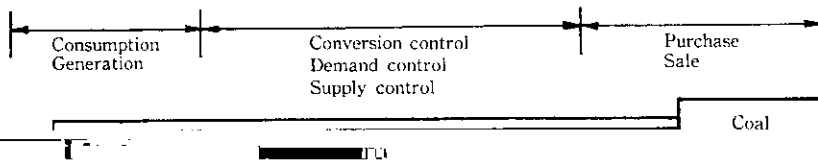
Akio Morikawa, ToKujiro Fujikawa, Hiroyasu Yoshimura

要旨

Synopsis:

石油危機以後、エネルギー多消費産業である製鉄所は省

Since the oil crisis, steelworks has powerfully pushed its own energy saving



●—● Oil-related fuel (incl. LPG) consumption
(100% shows oil-related fuel consumption in 1974)

×—× Energy self-sufficiency ratio

○—○ Electric power self-sufficiency ratio

ガスについても、単に燃料ガスとしてでなく、より付加価値を加えて供給する事が出来た。粗ガスの精製分離技術が重要である。

転炉ガスから高純度のCOガスを抽出する技術を開発した。

技術を当社と大阪酸素(株)とで共同開発した。

この技術については桜谷らの「転炉ガスからの高純度COガス精製分離システムの開発」にて紹介される。水島製鉄所にて、昭和

原料炭をソースとして、高いエネルギー自給レベルに達し、電力会社をはじめ周辺地域とエネルギー面において密接な関係に入っているおれおれが、社会により良く貢献できるためには、製鉄ガスによ